

サイコサイバネティクス・セミナー講師の気付き 無料レポート【第3回】

サーボメカニズムという言葉があります。このサーボはサーバントから来ていますので、「召使い」という意味です。つまり優秀な召使いのメカニズムをすべての人間は、内側に持っているのです。これは、強力な自動目標達成装置でもあります。ターゲット（目標）を与えると、無意識に、そのターゲット（目標）を取りにいけます。

しかし、ここが面白いところなのですが、それを直線的に取りにいきません。必ず、紆余曲折しながら、軌道修正しながら、ターゲット（目標）を取りに行こうとします。例えば、10時に渋谷で待ち合わせの場合、無意識に10時に間に合うように、動きます。少し早ければ、ゆっくり動きます。少し遅ければ、急ぎます。

この軌道修正のことを「ネガティブ・フィードバック」と言います。ほとんどの人は、これを失敗と思って、がっかりしてしまいます。そして「失敗する人間」としてのセルフイメージを強化してしまいます。このネガティブ・フィードバックは失敗ではなく、「成功するために必要な情報」なのです。

私が面白いと思ったのは、なぜ、サーボメカニズムは、直線的に目標を取りにいこうとしないのか？ということです。これは深い意味があるような気がします。もし直線的に目標を取りに行くならば、そこに一切の「学び」がありません。ネガティブ・フィードバックこそ、学びなのです。人間は学ぶために生きているのではないのでしょうか？学び成長するために、経験する機会が与えられているのではないのでしょうか？

もしそうならば、おおいに、我々が今まで「失敗」と呼んでいたものをすべきなのではないのでしょうか？がっかりするのではなく、喜び、感謝すべきことなのです。これからの人生に、落胆する失敗は存在しない、その代わりに感謝すべき、喜ぶべきネガティブ・フィードバックが存在するのです。失敗を恐れずに、いやむしろ失敗は歓迎であるというぐらいの気持ちで、どんどん行動すべきなのです。

サイコサイバネティクスは、考え方よりも行動に焦点を当てています。そして行動の鍵は、感情であるということも教えています。ワクワクするポジティブな感情で、行動し、失敗を恐れず、前進していきましょう！